

科学研究費補助金（学術創成研究費）事後評価結果

課題番号	16GS0308	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	機械受容チャンネルを核としたメカノバイオロジーの創成		
研究代表者名 (所属・職)	曾我部 正博（名古屋大学・大学院医学系研究科・教授）		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
(評価意見)		
<p>本研究は、</p> <p>(1) 機械的刺激受容を司るメカノセンサーについて、細菌 MS チャンネルおよび高等動物メカノセンサー作用機構の分子基盤を構造生物学的手法によって明らかにすること</p> <p>(2) 臨床応用を目指してメカノセンサー抑制剤を探索すること</p> <p>を目標とするものである。これと同時に、メカノバイオロジー領域の形成を目指した。</p> <p>研究代表者らは、メカノセンサーチャンネル作動の分子機構を構造生物学的に明らかにするとともに、培養細胞を用いて細胞骨格を基盤とする張力センサーの存在を示すなどほぼ期待どおりの研究成果を挙げた。特に、メカノセンサーチャンネル特異的な阻害剤の研究では中間評価段階では遅れが見られていたものの、その際の助言をもとに一定の研究成果を得ており、今後につなげる足場を作った。</p> <p>研究代表者は、今後もメカノバイオロジー分野を牽引することが期待されているため、本研究をより一層深化させ、インパクトの高い研究成果を挙げ発信するなど、世界をリードする研究を推進し続けてほしい。</p>		